

前橋競輪情報誌 — ピストファン 2026 May 2026 Vol.245

Dome.com 5

www.maebashi-keirin.jp 電話投票番号 22#



那須 萌美
(宮崎・114期)

5/26 (火) 27 (水) 28 (木) (ナイター・ガールズケイリン)
オッズパーク杯 FII

二宮歩美の LOVE E MK

私が一番好きな、空と緑のコントラストが美しい季節がやってきました!!この時期は気候も穏やかで、風も心地よく、まさに競輪観戦にぴったりです。

5月といえば、競輪界はダービーがメイン。群馬支部からもビッグレース常連へと成長してきた小林泰正選手、佐々木悠英選手、恩田淳平選手が登場するのは、ファンとして嬉しい限りです。

中でも佐々木選手は、4月の前橋FIIを制したばかり。初日は単騎戦でも迷わず位置を取りにいく積極性を見せ、2日目は地元で競られる嬉しい展開。それでも奪われた位置をしっかりと取り返し、最後は差し切って白星を挙げました。

慣れない番手を戦って戸惑いました。地元で競られるのはまだまだですね。

そんなニュアンスのコメントを残していましたが、ファンから見れば新たな一面。むしろ強い刺激を感じる内容でした。本人もその経験でスイッチが入った様子で、「競らせない存在になりたい」とさらなる進化を誓っており、今後がますます楽しみです。師匠としての意識も一層高まっています。師匠としての意識も一層高まっています。

「どんなに飲んでも遊んでも、次の日の練習には遅刻せずサボらないこと」

そんな教えを徹底しているそうで、息抜きの大切さと同時に、プロとしての自覚を若いうちから叩き込む姿勢はさすがです。

そして、5月の前橋競輪開催は26日、28日のFIIガールズ戦。私の一歩の注目は、28期在籍の1位の酒井亜樹選手の出場です!!

ナショナルチーム所属のため出走機会は限られており、生で観られるのは貴重なチャンス。ルーキーシーズンやフレッシュユースではしっかりと結果を残している一方、その後はビッグ常連との連戦で簡単に勝たせてもらえない状況が続いています。それでも、この「洗礼」と課題を乗り越えていきます。もう一段上のステージで活躍する未来が見えてきます。世界へと羽ばたく可能性を秘めた逸材の前橋デビュー戦——見逃し厳禁です!!!

人生キャンブルは事もキャンブル! 市口実紗紀の!みさき!やるき! 元気になるニュース!

4月の前橋FIIナイター開催中に競輪場で「第129期群馬支部新人選手お披露目会」が行われ、たまたまデビューを控えた若手選手たちのこれまでの歩みや目標が、スタジオやステージで紹介され、会場は大きな期待とワクワクした雰囲気にお包まれていましたよ。それでは、注目の2選手を簡単に紹介していきますね。

■北村翔太選手(群馬県出身・2005年生まれ)
2001年生まれ、自転車競技出身で、競輪一家に育ったサラブレッド!師匠はさらさら兄弟子には、目標とする篠田幸希選手がいて、トップ選手が身近に成長を続けています。日々の刺激を受けながら成長を続けています。

■田沼龍弥選手(群馬県出身・2005年生まれ)
もともと空手出身で、ご縁があって競輪の世界へ!師匠は恩田淳平選手(100期)です。昨年の寛仁親王杯GII決勝での恩田選手の走りを間近で見、大きな刺激を受けたそうです。自身の競走スタイルにもさらに磨きをかけています。目標は、5月からのスタートで、選ばれた新人のみが出走できる8月のルークシーシリーズでも優勝を狙っていきます。

5月26日、28日には、FIIナイターが開催予定です!地元からは木暮安由選手、手島志誠選手、青木亮太選手が出走予定。中でも木暮選手は、4月の玉野FIIで北井佑季選手の番手を回るなど存在感を発揮しており、地元バンクでの走りにも注目です。

◆ケイリン女子部の活動レポート
先日行われた西武園GIII(平原康多カップ)では、「ケイリン女子部」によるガイドランスも実施されました。4日間を通して多くのお客様が競輪の魅力に触れ、会場は大盛り上がり!記念すべき第1回開催ということもあり、特別な熱気に包まれたシリーズとなりました!

これからも、競輪の楽しさをたくさんお届けしていきますね!

最新情報は前橋競輪 SNS をチェック!! お得な情報を随時更新!是非フォローをお願いします

MAEBASHI KEIRIN OFFICIAL



X (旧 Twitter) @maebashi_megumi

LINEで友だちになろう!



LINE @maebashikeirin

前橋競輪場オフィシャル X (旧 Twitter) コンシェルジュの「まえばしめぐみ」が、前橋競輪からみなさまに元気をお届けします!



クーポンやお得な情報をお届けします!

Instagram maebashi_keirin_official

ここでしか見られない、選手のナチュラルな表情などをお楽しみください。



群馬発!競輪選手(女子・男子)育成プロジェクト

GTRとは“群馬トレーニングレース”の略称で、地元・群馬支部選手を養成し誕生させるため、前橋競輪が立ち上げたプロジェクトです。詳しくは前橋競輪 HP よりアクセスしてください。




2026年5月 前橋競輪日程表

前橋競輪場 前橋競輪 FII ミッドナイト

前橋競輪場 前橋競輪 FII ミッドナイト

前橋競輪場 前橋競輪 FII ミッドナイト

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
前橋	富山 FII	岸和田 FII	取手 FII (関東C)	伊東 FII	小松島 FII	和歌山 FII	全フロ FII (京都)	大垣 FII	富山 FII	日本選手権 GI (平塚)	★施設整備 GIII (松坂)	★百箇記念 GIII	高知 FII	宇都宮 FII	★前橋 FII	宇都宮記念 GIII															
館林・利根西	富山 FII	岸和田 FII	取手 FII (関東C)	伊東 FII	小松島 FII	和歌山 FII	熊本 FII	岸和田 FII	宇都宮 FII	富山 FII	松山 FII	小松島 FII	和歌山 FII	熊本 FII	★前橋 FII	宇都宮 FII	富山 FII	熊本 FII	★京王臨 FII	★平塚 FII	★別府 FII	★伊東 FII	★京王臨 FII	★久留米 FII	★松山 FII	★函館 FII	★前橋 FII	★京王臨 FII	★伊東 FII	★京王臨 FII	

※変更となる場合がございます。ご了承下さい。 併売は全レース発売です。★はナイター ♥はガールズケイリン

ネットで、車券を買うなら **オッズパーク!** 前橋競輪!

0120-953-620

楽天で競輪 **K-POINT** 貯まる! 使える!

0570-055-005

国内史上最高の払戻し! **12億円** (チャリト)

競輪・オートレースの車券が買える **Gambo**

競輪 総合メディア **netkeirin** あらゆる競輪情報がここに

公営競技は始めるならウィンチケット! さらに競馬も充実!

3つのメリット

ピストファン vol.245 2026年5月号

発行人: 前橋競輪 企画編集: e-SHINBUN

**A級は地元木暮安由、チャレンジは新鋭椎名俊介
 ガールズは那須萌美**

タイトルホルダーに手が届いても不思議ではなかった地元の木暮安由。どこで歯車が狂ったのかは定かではないが、このまま終わるわけにはいかない。今期は無念のA級降格となり、4月末時点で優勝はゼロ。玉野ミツドナイトでは北井佑季に離れる場面もあり、本来の姿とは言い難い。それでも地元バンクの利は大きく、ここへ向けてしっかりとコンディションを整え、巻き返しを狙う。

関東勢の自力型は手薄で、中島竜誠とベテラン小原唯志が軸となる構成。展開的に楽ではないが、木暮にとっては不利な流れをねじ伏せる力が問われるシリーズだ。

競走得点トップは真鍋頭汰。機動力は群を抜き、4月中旬時点で優勝5回、しかも一度も優出を外していない安定感を誇る。実績面では木暮を主力視したが、車券的な支持は真鍋に集まりそう。番手には元S級で長く活躍した吉村和之。選手会支部長の公務から離れ、競輪に専念できている点もプラス材料だ。

実績面で山中秀将の動向も見逃せない。不運なケガはあったが、元来のスピードは一級品。仕掛けはシンプルながら破壊力は健在で、40歳という年齢もまだ衰えを語る段階ではない。

チャレンジ戦は新鋭・椎名俊介がV候補の筆頭。ポテンシャルを考えれば特別昇班が出来ていないのが不思議な存在。同じ127期の岩原健馬、森飛龍も控え、岩原は優勝歴もあり椎名の牙城を崩しにかかる。森は実績で見劣り、レース面の成長が必要。さらに125期の秋末蓮は松阪、大垣と2場所連続完全優勝と勢い十分で、ここも争奪圏だ。

ガールズケイリンは那須萌美が中心。自在性の高さはトップクラスにも引けを取らず、位置取りの巧みでレースを組み立てる。藤田まりあは那須より前線で運べればチャンスがありそう。近況で力を付けているのが高木萌那で、久留米、いわき平と連続優勝。ロングスパートで後続を置き去りにするシーンも増えてきた。他では松本詩乃、ナショナルチームの酒井亜樹、下条未悠が優出候補として挙がる。

レース展望



※2026年4月22日現在のデータです。

■ 出場予定選手 (A級)

地区	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県
北日本	佐藤 朋也	89	秋田	伊藤 幸	115	福島	大森 光明	117	北海	大泉 英則	89	宮城
北日本	小原 唯志	101	茨城	木暮 安由	92	群馬	篠崎 高志	72	栃木	手島 志誠	83	群馬
関東	鈴木 謙二	97	東京	和田 禎嗣	99	埼玉	中島 竜誠	125	山梨	小峰 烈	98	長野
南関東	植草 亮介	90	千葉	山中 秀将	95	千葉	坂木田 雄介	78	千葉	相楽 修	78	千葉
中部	渡邊 健	76	愛知	吉村 和之	80	岐阜	佐野 恭太	94	静岡	水谷 将司	105	愛知
近畿	竹内 一暢	84	滋賀	一瀬 貴将	98	大阪	大塚 貴之	117	愛知	川口 聖翔	100	三重

■ 出場予定選手 (ガールズ)

地区	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県
北日本	小田桐 義継	81	北海	中村 敏之輔	91	北海	鈴木 裕斗	99	宮城	煤賀 隆幸	75	秋田
北日本	三浦 平志郎	100	秋田	齋藤 和也	78	福島	青木 亮太	89	群馬	小林 高志	79	東京
関東	椎名 俊介	127	茨城	宮原 貴之	87	栃木	吉川 誠	86	神奈	山口 直樹	123	神奈
南関東	清水 健次	113	東京	今村 俊雄	99	山梨	森 飛龍	127	静岡	花村 直人	71	三重
南関東	法月 成祐	77	神奈	晶山 裕行	82	神奈	松本 琢也	95	兵庫	井上 将志	100	兵庫
中部	黒瀬 浩一	57	静岡	村本 慎吾	94	静岡	高木 萌那	126	福岡	那須 萌美	114	宮崎
近畿	岩原 健馬	127	愛知	塚本 貴雄	70	岐阜						
近畿	平川 公一	86	大阪	中嶋 樹	119	大阪						
近畿	秋末 蓮	125	兵庫									

■ 出場予定選手 (ナイター)

地区	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県
北日本	小田桐 義継	81	北海	中村 敏之輔	91	北海	鈴木 裕斗	99	宮城	煤賀 隆幸	75	秋田
北日本	三浦 平志郎	100	秋田	齋藤 和也	78	福島	青木 亮太	89	群馬	小林 高志	79	東京
関東	椎名 俊介	127	茨城	宮原 貴之	87	栃木	吉川 誠	86	神奈	山口 直樹	123	神奈
南関東	清水 健次	113	東京	今村 俊雄	99	山梨	森 飛龍	127	静岡	花村 直人	71	三重
南関東	法月 成祐	77	神奈	晶山 裕行	82	神奈	松本 琢也	95	兵庫	井上 将志	100	兵庫
中部	黒瀬 浩一	57	静岡	村本 慎吾	94	静岡	高木 萌那	126	福岡	那須 萌美	114	宮崎
近畿	岩原 健馬	127	愛知	塚本 貴雄	70	岐阜						
近畿	平川 公一	86	大阪	中嶋 樹	119	大阪						
近畿	秋末 蓮	125	兵庫									

■ 出場予定選手 (ガールズ)

地区	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県
北日本	小田桐 義継	81	北海	中村 敏之輔	91	北海	鈴木 裕斗	99	宮城	煤賀 隆幸	75	秋田
北日本	三浦 平志郎	100	秋田	齋藤 和也	78	福島	青木 亮太	89	群馬	小林 高志	79	東京
関東	椎名 俊介	127	茨城	宮原 貴之	87	栃木	吉川 誠	86	神奈	山口 直樹	123	神奈
南関東	清水 健次	113	東京	今村 俊雄	99	山梨	森 飛龍	127	静岡	花村 直人	71	三重
南関東	法月 成祐	77	神奈	晶山 裕行	82	神奈	松本 琢也	95	兵庫	井上 将志	100	兵庫
中部	黒瀬 浩一	57	静岡	村本 慎吾	94	静岡	高木 萌那	126	福岡	那須 萌美	114	宮崎
近畿	岩原 健馬	127	愛知	塚本 貴雄	70	岐阜						
近畿	平川 公一	86	大阪	中嶋 樹	119	大阪						
近畿	秋末 蓮	125	兵庫									

前橋競輪公式 Facebook
<https://www.facebook.com/maebashikeirin.official/>

① マッチーの突撃、開催レポート
 毒と愛のある記事をモチーフにしている、闘うフリー記者のマッチーが、ドーム本場開催から、地元選手を熱くレポート。

② 闘う記者マッチーのどこまでも群馬支部
 群馬の選手が走るレースを、全国どこまでも追っ掛けて詳しくレポートするコーナー。

競輪専門紙・出走表がコンビニのマルチコピー機から24時間365日出力可能!!

※一部店舗では取り扱えない場合がございます。

eプリントサービス 03-5830-1808
 Powered by SHINBUN www.e-printservice.net

**5/1(金) 2(土) 3(日) 4(月) 5(火) 6(水) 6(水・休)
 平塚 第80回日本選手権競輪 GI**

優勝賞金1億円でS級トップの激しい戦い

優勝賞金は9600万円だが、副賞を含めると1億円を超える。準優勝で4680万円、3着で3200万円と高額で、年末のグランプリ出場に向けては大きなアドバンテージとなる。4月からは売り上げに応じて賞金も引き上げられ、F1でも優勝賞金は20万円。全体として妥当な水準と言えるだろう。

脇本雄太が負傷欠場となり、シリーズの大きな流れは変わってゆく。現代競輪は地区対抗の意味合いも強く、どの地区に勢いがあるかが鍵を握る。今年に入ってから目立ったニュースターの誕生もなく、勢力図に大きな変動は見られない。

まず北日本だが、新山響平の出来がポイントとなる。F1では安定して結果を残しているものの、9車立てのGIで本来の先行力も通用するかが焦点。S班となった阿部拓真も現状は苦戦気味で、ナショナルチームの中野慎詞や精神的支柱である新田祐大の状態も重要になる。

関東勢は明らかに息を吹き返している。吉田拓矢が西武園記念を制し、真杉匠も武雄記念を優勝。この両者の連発は強力だった。佐々木悠亮、杉浦侑吾、鈴木竜士といった伏兵陣の状態も良く、総合力の高さが光る。

南関は地元エースの郡司浩平に期待が集まる。番組面の恩恵も見込める中、深谷知広のウイナーズカップ制覇も追い風。あとは松井宏佑が本来の自信を取り戻せるかがポイント。

中部は山口拳矢が中心となり孤軍奮闘の構図。単騎戦は得意としており、ダービー制覇の思いの強さもあるだけに侮れない存在。

近畿は古性優作と寺崎浩平が、脇本不在の穴を埋める役割を担う。ただし若手の台頭が少なく、層の薄さは課題として残る。

中国四国は松浦悠士が全体のまとめ役で士気を上げる立場。太田海也が世界レベルのバウで挑む。さらに清水裕友や犬伏湧也が力を出し切れば、上位争いに絡んできそう。

九州は嘉永泰斗が中心となって引つ張るが、GIでは全体的にやや力が悪い印象は否めない。

勝ち上がりや考えと、特選シードの27名が断然有利。予選から勝ち上がる大きなポイントとなる。



郡司浩平 神奈川 99期

**5/9(土) 10(日) 11(月) 12(火) ナイター ガールズ
 松阪 施設整備等協賛アクアリウムカップ G3 GIII**

若手機動型の首位争いで混沌!

日本選手権直後に行われる協賛GIIIのため、ビッグゲームは不在。それでも優勝賞金は50万円と高額で、若手機動型にとっては大きなチャンスとなる。

優勝を狙える自力型としては、木村皆斗、鍋内健太、村田祐樹、眞鍋智寛らが中心。木村は2月の小松島、優勝と勢いにあり、豊橋記念でも準決勝以外は3勝と、クレバーなレース運びも光る。谷内は武雄記念で優出し、南修二と連発。ハイレベルな相手に苦戦しながらも、確かな手応えをつかんだ様子。眞鍋はカマン、あり武器の一発の魅力があり、村田は地元中部地区での開催という利が見込める。

小松型では実績十分の小崎大地、小川真太郎が存在を示す。追い込み勢では、地元の上田国広をはじめ、横山尚則、小岩大介、嶋田誠也らが勝ち上がり候補。また、若手石塚琢太郎、岩谷拓磨、木村弘の走りにも注目が集まる。

同時開催のガールズケイリンは、児玉碧衣の完全優勝が有力。打倒サトミナ、の筆頭格として高い人気を誇り、今年もフアール投票1位でオールスター出場は濃厚。自在型の那須萌美は粘り強さに加え、タテ脚も強化。地元竹野百香の機動力や、安東莉奈、永禮美瑠といった実力者も揃い、見応えあるシリーズとなりそう。



児玉碧衣 福岡 108期

**5/14(木) 15(金) 16(土) 17(日) ナイター
 函館記念 五稜郭杯争奪戦 GIII**

S級S班の5人がレースを盛り上げる!

北日本勢では新山響平に注目。大会の位置付けを考えると、「地元」のつもりで、走るはずで、モチベーションは高い。援護陣には勝部力也、成田和也が控え、小原佑太が勝ち上がり候補も見込まれる。

関東は佐々木悠亮、菊池岳仁、長島大介といった機動型に、司令塔・武藤龍生。さらに南関、佐藤礼文らがラインを固め、総合力に対抗する。

南関は郡司を軸に、和田真久留、築田一輝、松坂洋平とラインの厚みが魅力。連係面の完成度は上位に位置する。このバンクとの相性も良く、展開ひとつで主役に躍り出る存在だ。志智俊夫も53歳ながら健在で、山口との連係なら離れた心配は少ない。

近畿は古性を中心に山田久徳、三谷将太とビッグゲームが揃うが、全体としては若手の底上げが課題。

中国四国は松浦悠士の状態が鍵。ケガの影響がどこまで回復しているか注目される。大伏湧也も再び「赤パン」を狙う立場で気合は十分。マーク陣では岩津裕介が中心となる。

九州は東矢圭吾、後藤大輝の積極型がレースを動かす。追い込み陣には園田匠、井上昌己、松岡貴久と実力者が揃い、展開を突く力は高い。

開走は若手では小堀政太に注目。大胆不敵な走りでも波乱を呼ぶ「台風の目」となる可能性を秘めている。



脇本雄太 福井 94期

**5/30(土) 31(日) 6/1(月) 2(火)
 宇都宮記念 レジェンド神山雄一郎カップ GIII**

地元真杉匠が完全優勝を決める!

真杉匠が2度目の地元記念制覇に挑む。先行主体に加え、アグレッシブな3本の動きも武器。「神山祭り」と称された時代の流れを受け継ぐ存在として、今やその中心に立つ男だ。

盟友、吉田拓矢の存在も大きく、両者は前後を入れ替えてながらワンツーを狙う。勝ち上がりは並ひとは流動的だが、決勝では吉田が前では脱力脱力が有力か。地元勢では他に坂井洋、杉浦侑吾、神山拓弥とS級1班に挑むのが寺崎浩平・南修二の近畿コンビ。寺崎は500バンクだけに、タイミングを見極めた捲りが中心となる。この走路は多少位置が悪くても届く特性があり、展開ひとつで突き抜けるシーンも十分。南は昨年の充実期と比べると状態は途上だが、勝負どころでの嗅覚は健在。さらに市田龍生都まで勝ち上がりれば、厚みの北日本勢は菅田孝道、渡部幸訓、佐藤友和、守澤太志と競走得点上位者が揃うが、徹底先行型が不在で展開対応力が鍵となる。

南関勢は連勝を狙う小原太樹が中心。根田空史、松井宏佑との機動力ある布陣で一発を狙う。

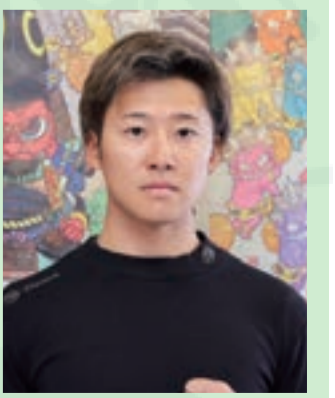
中部は実績十分の浅井康太が軸。状況次第では近畿勢との連係も視野に入れ、柔軟に対応していく。

近畿はS班の寺崎、南に加え、三谷竜生、村上博幸と実力者が揃い、層の厚さでは他地区にも負けていない。

中国四国は松本貴治、西田優大が前で踏み、桑原大志が司令塔として流れを作る。

九州は荒井崇博の存在感が際立ち、小川勇介のタテ脚も侮れない。ムラはあるが中川誠一郎も一発の魅力を秘めており、神山雄一郎を相手に記念制覇の実績は軽視できない。

なお、過去5年の優勝者は小原太樹、真杉匠、吉田拓矢、浅井康太、村上義弘と、いずれも実力者が名を連ねている。今年もシリーズ王者が格を中心、ハイレベルな優勝争いが期待される。



真杉匠 栃木 113期